

2013年4月21日

プロジェクト報告書

団体名 NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

手仕事カフェ

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

高齢社会を迎え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、助け助けられる人のつながりが不可欠である。そこでこのプロジェクトでは、手仕事を通し、教えたり教えられたりしながら、地域に顔見知りをつくることを目指す。また、技術がアップする喜び、褒められることによる自信、作品を身につけて出かける行動力、会話を楽しむことなど、生きがいが生まれることも期待したい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ・毎週水曜日の午前中、チャンプルーの会のフリースペースを使用して、「手仕事カフェ」を開催。
- ・デイサービスの利用者さんとボランティアグループ「ひめりんご」が古い着物を裂いて織物にした「裂き織」で、ポシェット、バッグ、ベストなどの作品に仕上げる。
- ・古い着物のうち、リフォーム可能なものを活用して、バッグ、洋服、雑貨を制作し、商品化する。
- ・裂き織作品、リフォーム作品は毎週水曜日の手仕事カフェで展示即売し、売上を活動経費や制作者の収入とする。
- ・作品をつくるだけでなく、ティータイムを設け、参加者同士がおしゃべりを楽しむ。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ・参加者が増加したため、年度途中から、火曜日午後にも活動を拡大させた。
- ・作品が増え、季節の移り変わりのタイミングに合わせて販売する必要性が出てきたので、毎月末2日間の予定で、展示即売会を実施するようになった。
- ・参加者が増加し、スペースが手狭になったため、開催する回数を増やすか、別の場所を確保するか検討中。
- ・手作りの楽しさを実感し、新しい分野に挑戦したり、技術をレベルアップさせたいという意欲的な人が増えた。指導者を増やす必要性が出てきたので、2013年度もShinjoプロジェクトに助成金申請をさせていただき、スタッフ育成に努めたいと考えている。
- ・参加者からの提案によって団地集会所で開催されたファッションショーは大盛況だった。



5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

「手仕事」というキーワードで人がつながっていく様子には目を見張るものがあった。参加者同士、教え、教えられる関係ができ、着物のリフォームだけでなく、刺繍、編み物、パッチワークなどへの広がりを見せている。また、得意分野だけでなく、コラボして一つの作品をつくるなど、家のなかで手芸を楽しんでいたのでは考えられない“化学変化”が見られた。耳が遠くおしゃべりが苦手という方が、作品づくりに取り組むなかで笑顔を取り戻されたり、孤独な一人暮らしが逆に作業に集中できて最高と前向きになられた方など、笑いと元気があふれる、一人一人にとってかけがえない居場所になっている。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし



手仕事 Cafe

5月30日(水) OPEN!

毎週水曜日 “手仕事大好き人間” が集まります



きものをリフォームしたり、デイサービスサラのさき織をアレンジした小物や洋服の即売もいたします。



手を動かしながらのおしゃべりも楽しみです。

一緒にいかがですか・・・



とき 毎週水曜 10:00~12:00



ところ ひろばサラ (エルロード商店街レストランサラ隣り)

主宰 NPO 法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会
デイサービスサラ(さき織グループひめりんご)

お問い合わせ先・ひろばサラ 042・535・8239

手仕事カフェ



NPO法人高齢社会の食と職を考える
チャンブルーの会

毎週水曜日は手仕事カフェ



教えたり、教えられたり。



初めて作りました。



手仕事カフェの作品・商品です。



2012年12月8日（土）
生まれて初めてのファッションショー



『両親の着物が生まれ変わりました！』



たくさんのお客さまから拍手をもらうのは
気持ちよかった～！
(参加者の声)

